

“ここで、ずっと、暮らしたい” そう思ってもらえる街を目指して、  
小松島市では出会いから結婚、出産、子育てまで各ライフステージに  
あわせた切れ目のない支援を通して、あなたの暮らしをサポートします。

## こどもまんなか 応援サポーター

「すべての児童は愛護され、よい環境のなかで心身ともに健全に育成されなければならない。」の基本理念に基づき、令和4年度から「小松島市子育て世代応援プロジェクト」として、子育て世代の各ライフステージに合わせた切れ目のない支援を実施しています。そして、令和5年9月には、こども家庭庁の「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、「こどもまんなか応援サポーター」を宣言し、さらなる子育て世帯の負担軽減や教育環境の充実に図り、誰もが住みやすいまちを目指しています。



## 子育て世代に 選ばれる街づくりを 推進しています!

小松島市の「子育て世代をターゲットとしたまちの魅力向上による賑わい創出事業」が地方創生を推進する取り組みとして、内閣官房の作成する事例集『デジタル田園都市国家構想交付金を活用した女性活躍の取組事例集』(2023年3月)、『デジタル田園都市国家構想交付金を活用した妊娠・出産・子育てに関する取組事例集』(2023年12月)にて紹介されました。

詳しくはこちら



小松島市



内閣官房・内閣府総合サイト

### 担当課

- 企画政策課  
TEL.0885-32-2127
- 保健センター  
TEL.0885-32-3551
- こども家庭センター  
TEL.0885-38-7100
- 児童福祉課  
TEL.0885-32-2114
- 教育政策課  
TEL.0885-32-3813
- 学校課  
TEL.0885-32-3811
- 保険年金課  
TEL.0885-32-4120

※各補助や助成には、それぞれ受給条件があります。  
詳しくは担当課までお問い合わせください。

## 就学前



### ● 離乳食講習会

管理栄養士による離乳食の講習と試食を行っています。  
開催: 偶数月 第4金曜  
対象: 7カ月～1歳6カ月児とその保護者

## 小学生 中学生



### ● 学校給食における地産地消・食育推進

米、野菜、ちくわなどの練り製品、ちりめんなど積極的に小松島産を使用。特に小松島産の米を使った「米粉パン」はもちもち感があり、子どもたちにも好評。また、小松島市で無農薬栽培された米や小松菜を使い、オーガニック給食の推進に取り組んでいます。

### NEW ● 学校給食費支援事業

学校給食費の値上げを避けるため、市が物価高騰分の一部を補てんし、経済的負担の軽減を図ります。

### ● 副食費 無償化事業(幼)

幼稚園・認定こども園(教育部門)での副食費を無償化。

### ● 副食費 無償化事業(保)

保育所・認定こども園(保育部門)での副食費を無償化。

### ● 入学祝い金

小松島市に1年以上居住している母子家庭または父子家庭の方を対象に助成します。

小学生 5,000円	中学生 8,000円
---------------	---------------

### ● 中学生ヘルメット 購入補助事業

市内の中学校に通う中学1年生に補助します。

1人あたり 300円
---------------

### ● 病児・病後児保育事業

保護者が仕事等により、病気または回復期の児童を家庭で保育することが困難な場合、一時的に預かり・保育する事業です。

### ● 一時預かり・休日預かり

平日の一時的、あるいは日・祝日に就学前児童の家庭での保育が困難な場合、一時的に預かり・保育する事業です。詳しくは裏表紙へ

### ● 放課後児童クラブ・児童館

保護者が仕事等により昼間家庭にいない小学生に、安全な遊び場や生活の場を提供しています。主に放課後や学校休業日(土曜や長期休暇等)に放課後児童クラブ13カ所、児童館3カ所を設けています。

### ● 乳幼児相談事業

保健師・管理栄養士が身体計測や育児相談を実施しています。

### ● 子育て応援教室『HUGくみ』

保育士等資格を有する利用者支援専門員が子育てのさまざまな悩み相談をワンストップで支援します。  
■問い合わせ 児童福祉センター(旧・和田島保育所)  
TEL.0885-39-1273